## 小児科

			O 15	通				連	うち		うち	シー	堂	
	2	0	(2023-25年度)過去3年間平均採用数	通常募集プ			うち	連 携 等 プ	<b>県限定分を除く)</b> うち連携プログラム(都道府	うち	うち特別地域連携プログラム	リング数 (通常+連携等)	常勤派遣分	備 考
	1 6	8	ž3 2 7	集 プ	うち	うち	うち留意分		限党     定口	うち都道府県限定分	地	数	遣	
	6年足下充足率	8年足下充足率	。間     。平	ロ グ	ち基本数	加	忌 分	ロ グ ラ	分グ     を	府	連	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		—————————————————————————————————————
	下	下布	2 均 5 坪	グラム	本 数	加算分	* 1	フ ム 数	除る	県 限	<u>携</u>   プ		** 2 •	Č
	足変	足	年作用	ム 数			1	数	<u>こ</u>	定分	ロ グ	携等	)	
	<b>4</b>	<del>学</del>	ン数						道		ラム			
北海道	0. 85	0. 92	18						713					
青森県	0. 73	0. 78	4											
岩手県 宮城県	<ul><li>0. 77</li><li>0. 88</li></ul>	0.84	6											
秋田県	0.87	1. 10	2											
	0.86	0. 91	2											
福島県 茨城県	0. 77	0. 85	8											
	0. 71	0. 71	9											
	0. 94	0. 95	9											
	0. 74	0. 78	29											
千葉県	0. 76	0. 77	21											
東京都	1. 22	1. 19	117	66	57	9	0	51	14	19	19	117	2	連携枠端数-1
	0. 92	0.84	32											
新潟県 富山県	0. 82 1. 05	0.89	7 3											
石川県	1. 06	1. 00	4											
福井県	1. 12	1. 05	3											
山梨県	1. 05	1. 16	3											
	0.96	0. 94	7											
	0.85	0.86	6											
	0. 70	0. 76	11											
	0. 79 0. 78	0. 80	32 4											
滋賀県	1. 11	1. 02	4											
京都府	1. 16	1. 21	9	10	10	0	0	0	0	0	0	10	0	
大阪府	0. 95	0. 91	50											
	0.89	0. 94	32											
	0. 84	0. 94	6											
和歌山県 鳥取県	0. 82 1. 31	1. 01	2											
	1. 00	0. 97	3											
岡山県	1. 10	1. 01	8	14	8	0	6	0	0	0	0	14	0	
	0.87	0.82	7											
	0.88	0. 92	4											
-	0.90	1. 03	2											
香川県 愛媛県	1. 03 0. 94	1. 07 0. 95	<u>4</u> 5											
	0. 94	1.09	3											
福岡県	1. 06	0. 92	23											
佐賀県	0. 94	0.87	1											
	0.96	1. 01	3											
	0.86	0. 92	4											
	0. 89	1. 04 0. 71	3											
	0. 67	0. 71	ა 5											
沖縄県	1. 17	0. 70	6											
			•	90	75	9	6	51	14	19	19	141	2	

<sup>※1</sup> 通常プログラムの留意分の算出に当たり、小児科の全国専攻医採用数(2023-25年度の過去3年間の平均)の1.7%は9名となる。

<sup>※2</sup> 枠の取り扱いは通常プログラムでの採用と同様とするが、常勤派遣分での採用については次年度以降の採用実績には計上しない。

<sup>※3</sup> 備考欄に記載の「連携枠端数」は、各連携プログラムの枠数を2025(令和7)年度の各連携プログラムの枠数の割合に応じて算出し四捨五入するために生じる端数(本来設定可能な枠数である 「連携等プログラム数」から、算出した各連携プログラムの枠数の合計を引いた差分)であり、各連携プログラムの実際の枠数の設定においては、「−1」の場合はいずれかの連携プログラムを記載 の数字より1枠減らし、「+1」の場合はいずれかの連携プログラムの枠を記載の数字より1枠増やす必要があることを示している。